

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和3年2月9日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 わたなべさつ子 ㊞

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>高齢者等の聞こえの支援について</p> <p>「長久手市高齢者や介護に関するアンケート」結果によると、外出を控えている理由（複数回答）に耳の障がいと212人のうち男性8.3%、女性で4.4%が答えている。</p> <p>難聴になると家庭の中でも社会的にも孤立しやすく、人との会話や会う機会が減りひきこもりになり認知症につながることも心配される。また、災害時には必要な情報が把握しにくく避難が遅れるようなことになりかねないなどの困難が伴う。補聴器は軽度から中等度のできるだけ早いうちから使うのが効果的だと言われている。公的給付の対象とならない難聴者への補聴器購入助成を実施する自治体が増えている。</p> <p>(1) 聴覚障がいの状況について ア 障害者手帳所持者のうち聴覚障がい者は何人か。 イ 聴覚障がい者のうち65歳以上は何人か。 ウ 65歳以上で新たに聴覚障がいにより手帳を所持する人はどのくらいあるか。</p> <p>(2) 加齢性難聴の補聴器購入の助成をしないか。 (3) ヒアリングループ機器の貸出をしないか。</p>	

2	<p>市のデジタル化について</p> <p>経済や社会のデジタル化の進展は人々に快適で便利なくらしをもたらしている。コロナ禍の中では公私の情報把握やコミュニケーションなど日常生活に欠かせないものとなっている。一方で、プライバシー権の保障や情報弱者と言われる人たちへの対応はますます重要となっている。</p> <p>(1) 市の現在のデジタル化はどのようなか。</p> <p>(2) 情報弱者（例えば高齢者やインターネットを使わない人など）への配慮はどのようなか。</p> <p>(3) 今後の市のデジタル化方策はどのようなか。</p>	
3	<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>市においては新型コロナウイルス感染症対策に定額給付金を始めとして予算規模で約70億円が投じられ、多くの事業に使われてきた。新型コロナウイルス感染症対応が長期化する中、全国各地で入院を必要とする人が入院できない状況で、自宅療養中の人が増えるケースや、医療職員の疲弊が伝えられている。医療機関に対する十分な減収補填、積極的な検査、休業要請への保障などが求められている。</p> <p>(1) 国は新型コロナウイルス感染症対応分として臨時交付金を市町村に措置しているが、本市の交付限度額はいくらかで、どのように使われたのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症は1年を経過するが収束の兆しが見えていない。今後も未執行事業の予算を活用して新型コロナウイルス感染症に対応する医療支援、暮らし・営業支援が必要ではないか。</p>	